

Point
安心安全な
まちづくりを
常に意識
する

地域の連携による防災能力の向上 ～住民参加型の訓練～

平成 27 年度垂水市桜島火山爆発総合防災訓練

標記につきまして、報道各社の皆様を通じて、「市民の防災意識の高揚と知識の向上」を図りたいと考えています。取材方よろしくお願い申し上げます。

■資料 本紙を含む 12 枚

■日時 平成 28 年 1 月 12 日（火） 8：00～11：20

※詳細日程は別添のとおり

■場所 ①訓練地区／牛根麓地区、協和地区

②主訓練会場／旧協和中学校グラウンド（〒 891-2102 垂水市中俣 302）

■参加団体（20 団体）

- （1）垂水市（2）垂水市消防本部（3）垂水市消防団（4）陸上自衛隊第 12 普通科連隊
- （5）鹿屋警察署（本署、垂水幹部派出所）（6）垂水市自主防止組織連合会
- （7）垂水市関係地区振興会（8）垂水市アマチュア無線自主防災会
- （9）鹿児島県隊友会垂水支部（10）垂水市漁業協同組合（11）牛根漁業協同組合
- （12）FM たるみず（13）エス・パックス株式会社（14）日本乾溜工業株式会社
- （15）株式会社ナディックサービス（16）垂水ガス協業組合（17）協和小学校
- （18）松ヶ崎小学校（19）和光保育園（20）江ノ島幼稚園

■目的

災害対策基本法及び垂水市地域防災計画に基づき、桜島の爆発的噴火及び地震等による災害発生に際し、防災関係機関が相互に緊密な連携を保ちながら各種の災害応急対策が迅速かつ適切に行われるよう防災体制の実効性について検証・確認を行うとともに、市民の防災意識の高揚と知識の向上を図る。

■基本想定

噴火警戒レベル 3 から噴火警戒レベル 5（鹿児島市・鹿児島県の基本想定と共通）

■主な訓練内容

情報伝達訓練・警戒監視訓練・避難誘導訓練・避難訓練・ドローンによる被害状況調査
アマチュア無線を活用した非常通信訓練・自主防災組織による初期消火活動 等

■問い合わせ先 垂水市役所総務課 安心安全係 担当 森 ☎ 0994-32-1111 内線 223

■情報発信元 垂水市役所企画政策課 秘書広報係 担当 迫田 ☎ 0994-32-1111 内線 271

※鹿屋記者クラブ様 この資料は報道機関各社に送信しています。

平成27年度
垂水市桜島火山爆発総合防災訓練

テーマ

地域の連携による防災能力の向上

～ 住民参加型の訓練 ～

開催日時 平成28年1月12日（火）8:00～11:20

開催場所 訓練地区：牛根麓地区及び協和地区
訓練会場：旧協和中学校グラウンド



垂 水 市

I 実施要綱

1 目的

災害対策基本法及び垂水市地域防災計画に基づき、桜島の爆発的噴火及び地震等による災害発生に際し、防災関係機関が相互に緊密な連携を保ちながら各種の災害応急対策が迅速かつ適切に行われるよう防災体制の実効性について検証・確認を行うとともに、市民の防災意識の高揚と知識の向上を図る。

2 訓練実施日時

平成28年1月12日（火） 8：00～11：20

（気象台からの警報発表や異常現象等が発生し、その対策を要するときは本訓練を中止することがある。）

3 訓練実施場所

訓練地区：牛根麓地区及び協和地区

訓練会場：旧協和中学校グラウンド

4 訓練等の組織

(1) 訓練組織

- ア 垂水市災害対策本部長 : 垂水市長
- イ 本部長付 : 訓練参加機関の長及び団体の長
- ウ 訓練責任者 : 総務課長
- エ 訓練責任者補佐 : 安心安全係長、危機管理監

(2) 安全管理組織

- ア 統括訓練指揮者 : 垂水市長
- イ 統括安全主任者 : 総務課長
- ウ 訓練指揮者 : 消防署長
- エ 訓練安全主任者 : 消防本部警防課長

5 訓練参加機関及び団体（順不同）

- (1) 垂水市
- (2) 垂水市消防本部
- (3) 垂水市消防団
- (4) 陸上自衛隊第12普通科連隊
- (5) 鹿屋警察署（本署、垂水幹部派出所）
- (6) 垂水市自主防災組織連合会
- (7) 垂水市関係地区振興会
- (8) 垂水市アマチュア無線自主防災会
- (9) 鹿児島県隊友会垂水支部
- (10) 垂水市漁業協同組合
- (11) 牛根漁業協同組合
- (12) FMたるみず
- (13) エス・パックス株式会社
- (14) 日本乾溜工業株式会社
- (15) 株式会社ナディックサービス
- (16) 垂水ガス協業組合
- (17) 協和小学校

- (18) 松ヶ崎小学校
- (19) 和光保育園
- (20) 江ノ島幼稚園

II 基本想定等

1 基本想定

(前提：噴火警戒レベル3 継続中)

1月7日(木)午前中、鹿児島地方気象台が設置している地震計が、桜島の火山性微動を記録し、異常現象発生のおそれが検知された。

1月7日(木)午後から、鹿児島県は「第1回桜島爆発災害対策連絡会議」を開催し、今後の火山活動の状況及び被害範囲の概略予測を協議した。

この連絡会議において、今後、桜島の火山活動がさらに活発化の様相を呈した場合、即、「桜島爆発災害対策連絡会議」を開催し、桜島の噴火に備えて影響範囲の詳細予測を行うとともに、今後想定される被害や危険な地域からの避難の必要性等について協議することを確認した。

また、鹿児島市においては、「第1回桜島爆発災害対策連絡会議」の協議結果を受け、1月7日午後から、桜島の地域住民等に対し、注意喚起を行うなど警戒体制を強めた。

垂水市においても、桜島に近接している牛根麓、協和の両地区住民等に対し、それぞれ注意喚起を行うなど警戒体制を強めた。

1月11日(月)8時05分から、鹿児島県は「第2回桜島爆発災害対策連絡会議」を開催し、桜島の火山活動がさらに活発化していることから、関係機関の連絡体制の確認等を行った。

垂水市は「第2回桜島爆発災害対策連絡会議」の協議結果を受け、同日13時00分に牛根麓、協和の両地区住民等に対し、避難準備情報を発令し、第1次避難所として境小学校体育館及び垂水市市民館を開設した。

1月12日(火)未明から、桜島島内で震度1以上を観測する有感地震が発生し、山体膨張を示す地殻変動が顕著になった。

鹿児島県は、同日8時05分から「第3回桜島爆発災害対策連絡会議」を開催し、桜島の噴火に備えて影響範囲の詳細予測を行うとともに、今後想定される被害や危険な地域の避難の必要性について関係市長等に助言した。

同日8時30分、鹿児島県、鹿児島市及び垂水市はそれぞれ「災害対策本部」を設置した。

更に、鹿児島市は桜島支所に「現地災害対策本部」を設置した。

また、同時刻、福岡管区気象台及び鹿児島地方気象台は、「震度1以上を観測する地震が半日以上継続しており、大規模な噴火活動に発展するおそれがあるので、厳重に警戒する必要がある。」との観点から「噴火警報(噴火警戒レベル5、避難)」(特別警報に位置付け)を発表し、噴火警戒レベルを3から5に引き上げた。これを受け、鹿児島市は8時50分に避難勧告を発令した。垂水市も8時50分に避難勧告を発令した。(垂水市の避難勧告対象地区：昭和火口から半径約8km以内の居住地区)

さらに、「桜島爆発災害対策連絡会議」では、大規模噴火の時期が迫ってきたと判断し、住民の避難を急ぐ必要があるとの結論に達したため、避難の指示を行うよう関係市長に助言した。

これを受け、9時10分、鹿児島市及び垂水市は、それぞれの対象地区住民に避難指示を発令した。避難指示の発令に伴い垂水市は、牛根地区公民館及び垂水小学校体育館を新たに第1次避難所として開設した。

同日9時40分、垂水市は旧協和中学校跡地に「現地災害対策本部」を設置した。

同日12時00分、桜島が山腹から大爆発を起こし、島内で噴石、火災、崖崩れ及び火砕流が発生し、約300戸の家屋が焼失した。垂水市においては、噴石の飛散による建物が一部損傷、小浜、脇登及び牛根麓地区で小規模な火災が発生した。

さらに、同日15時00分頃、鹿児島湾を震源とするM7.1の地震（震度6強）の地震が発生した。この地震の発生に伴い、気象庁は同日15時03分、津波予報区「鹿児島県西部」に津波警報を発表し、厳重な警戒を呼びかけた。この地震により、鹿児島市では約500戸の家屋が、また垂水市では約100戸の家屋がそれぞれ倒壊、焼失するなどの被害が生じた。

Ⅲ 訓練時間及び訓練種目

	訓練時間	訓練種目	実施機関（順不動）	場所
1	8:00～11:00	情報伝達訓練	垂水市 垂水市消防本部 垂水市消防団 その他関係機関・団体	垂水市役所 各訓練場所
2	8:50～9:20	警戒監視訓練	垂水市消防本部 垂水市消防団	牛根麓・協和地区
3	8:50～9:20	避難広報訓練 (8:50～9:10 避難勧告) (9:10～9:20 避難指示)	垂水市消防本部 垂水市消防団 鹿屋警察署	
4	9:00～9:35	避難誘導訓練	垂水市消防本部 垂水市消防団 垂水市自主防災組織連合会 関係地区振興会 県隊友会垂水支部 鹿屋警察署	
5	9:00～9:35	避難訓練	垂水市自主防災組織連合会 関係地区振興会	
6	9:00～9:35	避難者輸送訓練	垂水市	
7	9:00～11:20	自衛隊車両及び防災用品等の展示	陸自第12普通科連隊 エス・パックス株式会社 日本乾溜工業株式会社	
8	9:30～9:35	ドローンによる被害状況調査（テスト飛行）	株式会社ナディックサービス	旧協和中グラウンド (雨天時：体育館)
9	9:40～9:45	現地対策本部開設 開始式（本部長あいさつ）	垂水市 垂水市消防本部 垂水市消防団 その他関係機関・団体	旧協和中グラウンド (雨天時：体育館)
10	9:45～11:00	アマチュア無線を活用した 非常通信訓練	垂水市アマチュア無線自主防 災会	旧協和中グラウンド (雨天時：体育館)
11	9:45～10:10	自主防組織等による簡易担 架作成・負傷者搬送訓練	垂水市自主防災組織連合会 関係地区振興会 県隊友会垂水支部 垂水市消防本部	旧協和中グラウンド (雨天時：体育館)
12	10:10～10:35	自主防組織等による応急処 置訓練	垂水市自主防災組織連合会 関係地区振興会 県隊友会垂水支部 垂水市消防本部	旧協和中グラウンド (雨天時：体育館)
13	10:35～10:55	自主防災組織等による初期 消火訓練	垂水市自主防災組織連合会 関係地区振興会 県隊友会垂水支部 垂水市消防本部	旧協和中グラウンド (雨天時：取り止め)

	訓練時間	訓練種目	実施機関（順不動）	場所
14	10:00～11:15	園児・児童等の地震・津波 避難誘導訓練	垂水市消防本部 垂水市消防団	各学校、幼稚園、 保育園及びその周 辺 (雨天時:取り止め)
15		園児・児童等の地震・津波 避難訓練	江ノ島幼稚園 松ヶ崎小学校 和光保育園 協和小学校	
16	10:35～10:50	陸上自衛隊による被害状況 調査訓練	陸自第12普通科連隊	垂水市漁協内
17	10:50～11:15	陸上自衛隊による残留者捜 索・救助訓練	陸自第12普通科連隊 鹿屋警察署 垂水市漁業協同組合	
18	10:55～11:05	非常用発電機の作動試験	垂水市役所 垂水ガス協業組合	旧協和中グラウンド (雨天時:取り止め)
19	11:05～11:10	ドローンによる被害状況調査	株式会社ナディックサービス	旧協和中グラウンド (雨天時:体育館)
20	適宜	放送訓練(訓練情報)	F Mたるみず	FM垂水放送局
21	11:15～11:20	現地訓練終了式	(訓練参加各機関・団体等)	旧協和中グラウンド (雨天時:体育館)

IV 訓練実施細目

	時間	訓練種目等	想定又は状況
1	8:00 ～ 11:00	情報伝達訓練	別添の鹿児島県計画の「情報伝達訓練細部要領」によるほか、防災訓練全般について関係機関相互に行う情報伝達、業務調整を当該訓練と位置付けて実施する。
2	8:50 ～ 9:20	警戒監視訓練	鹿児島地方気象台は、8時30分に噴火警報「噴火警戒レベル5、(避難)」(特別警報に位置付け)を発表し、噴火警戒レベルを3から5に引き上げた。 これを受けて垂水市は、災害警戒本部を廃止し災害対策本部を設置、垂水市災害対策本部は、桜島爆発災害対策連絡会議の協議結果を踏まえ、消防本部、消防団、自主防災組織連合会による警戒隊を編成、牛根麓地区及び協和地区に配置し警戒監視に当たることとした。
3	8:50 ～ 9:20	避難広報訓練 (8:50～9:10 避難勧告) (9:10～9:20 避難指示)	1 垂水市災害対策本部は、第3回対策本部会議の結果に基づき、昭和火口から約8kmの範囲に所在する牛根麓地区及び協和地区の住民に対し、8時50分に避難勧告を発令するとともに、直ちに避難所の開設を開始(想定)した。 2 垂水市災害対策本部は、9時10分、桜島爆発災害対策連絡会議からの大規模噴火の時期の切迫、避難指示への移行の助言を受けて、避難対象地区住民に避難指示を発令した。 3 垂水市災害対策本部は、避難勧告、その後の避難指示に関する広報の実施について、近隣の消防分団、自主防災組織、鹿屋警察署に支援を要請した。
4	9:00 ～ 9:30	避難誘導訓練	1 地域住民は、垂水市災害対策本部の避難勧告及び避難指示に基づき避難を開始した。 2 県隊友会垂水支部は、避難所周辺から避難所への誘導を支援することとした。 3 垂水市災害対策本部は、消防本部及び消防団による住民誘導に当たるとともに、鹿屋警察署(本署、垂水幹部派出所)に誘導支援を要請した。 4 協和及び松ヶ崎小学校教職員は、地震に伴う津波襲来に備え、児童を安全な場所に避難誘導することとした。
5	9:00 ～ 9:30	避難訓練	牛根麓地区及び協和地区の住民は、避難勧告、避難指示の広報を受けて避難を開始した。
6	9:00 ～ 9:30	避難者輸送訓練	垂水市災害対策本部は、市有乗合バス2台を運行して、避難のための一時避難集結地(避難壕)に集合した住民を避難所に輸送することとした。
7	9:00 ～ 11:20	自衛隊車両及び防災用品等の展示	1 陸自第12普通科連隊装備車両を一般公開する。 2 エス・パックス株式会社が製造する簡易ベッド及び日本乾溜工業株式会社が製造する簡易トイレ並びに防災用品の展示を行う。
8	9:30 ～ 9:35	ドローンによる被害状況調査(テスト飛行)	垂水市災害対策本部は、速やかな被害状況の把握と住民への情報提供を行うため、株式会社ナディックに対し、被害状況調査を要請した。
9	9:40 ～ 9:45	現地対策本部開設 開始式(本部長訓示)	1 垂水市は、詳細な被害状況の確認及び応急対策のために、対策本部長が現地で陣頭指揮にあたるために現地対策本部を開設した。 2 桜島総合防災訓練の開始に際し市長の訓示

行動概要	実施機関及び協力機関	使用資機材等
別添の鹿児島県計画の「情報伝達訓練細部要領」によるほか、防災訓練全般について関係機関相互に情報伝達、業務調整を行う。	垂水市 垂水市消防本部 その他関係機関・団体	BisFax 及び防災情報ネットワーク トランシーバー等
消防本部及び消防団（第2、第7分団）は、相互に協議して、適宜の場所に警戒員を配置し、桜島の大規模噴火に備え警戒監視に当たる。	垂水市消防本部 垂水市消防団	消防車両3台
1 消防本部及び消防団（第2、第7分団）は、消防長所定により、消防車両による避難勧告、避難指示の広報を行なう。 2 鹿屋警察署は、署長所定による避難勧告、避難指示の広報を行う。 3 広報文については、それぞれ実施機関所定とする。	垂水市消防本部 垂水市消防団 鹿屋警察署	消防車両3台 警察パトカー1台
1 消防本部、消防団、自主防災組織及び関係地区振興会は、地域住民をそれぞれ指定された一時避難集結地（退避壕）に避難誘導する。 2 県隊友会垂水支部は、旧協和中学校に到着した避難者を一時待機場所（グラウンド）に誘導する。（雨天時：体育館） 3 鹿屋警察署は、署長所定で警察官を巡回させ適宜の場所で交通整理を行うとともに、警察パトカーによる避難者輸送車両の先導を行う。	垂水市消防本部 垂水市消防団 垂水市自主防災組織連合会 関係地区振興会 県隊友会垂水支部 鹿屋警察署	消防車両3台 警察パトカー2台
地域住民は、避難勧告・避難指示に基づき避難する。	垂水市自主防災組織連合会 関係地区振興会	
垂水市担当課は、市有乗合バス2台を運行して避難者の輸送に当たる。	垂水市財政課	市有乗合バス2台
1 陸自及び各企業担当者所定で展示及び一般公開を実施する。 2 垂水市担当課は、現地で展示及び一般公開に必要な調整を行う。	垂水市総務課 陸自第12普通科連隊 エス・パックス株式会社 日本乾溜工業株式会社	
株式会社ナディックは、訓練主会場（旧協和中学校グラウンド）上空を飛行しつつ被害状況の調査を行う。（試験飛行）	株式会社ナディック	
現地訓練開始前に、参加機関、協力機関、支援団体及び地域住民ごとに整列して訓練開始式を行う。	訓練参加機関及び団体等	放送用器材 ・マイク1本 ・スピーカーアンプ1台 ・トランジスターメガホン1台

	時間	訓練種目等	想定又は状況
10	9:45 ～ 11:00	アマチュア無線を活用した非常通信訓練	垂水市災害対策本部は、より速やかな被害状況の把握と住民への情報提供を行うため、消防組織の非常通信網の構築に加えて、垂水市アマチュア無線自主防災会に対し、アマチュア無線を活用した被害情報収集及び住民への各種情報提供に係る支援を要請した。
11	9:45 ～ 10:10	自主防災組織等による簡易担架作成・負傷者搬送訓練	桜島の大規模な爆発的噴火による噴石飛散、地震、津波襲来により、牛根麓地区及び協和（小浜、脇登）地区で多数の負傷者が発生しているため、近隣の自主防災組織及び県隊友会垂水支部は、可能な範囲で応急処置による救護活動を行うこととした。
12	10:10 ～ 10:35	自主防災組織等による応急処置訓練	桜島の大規模な爆発的噴火による噴石飛散、地震、津波襲来により、牛根麓地区及び協和（小浜、脇登）地区で多数の負傷者が発生している。 このため、近隣の自主防災組織及び県隊友会垂水支部は、可能な範囲で応急処置による当たることとした。
13	10:35 ～ 10:55	自主防災組織等による初期消火訓練	牛根麓地区及び協和（小浜、脇登）地区では、噴石等が家屋に落下し火災が発生している。 地域住民は、直ちに消防本部に通報するとともに、消防車到着までの間、自主防災組織及び県隊友会垂水支部による放水、家庭用消火器の集中使用による消火、延焼防止の措置をとることとした。
14	10:00 ～	園児・児童等の地震・津波避難誘導訓練	鹿兒島湾を震源とする震度6弱の地震が発生、数分後に鹿兒島県西部に津波警報が発表された。
15	11:15	園児・児童等の地震・津波避難訓練	
16	10:35 ～ 10:50	陸上自衛隊による被害状況調査訓練	垂水市長は、鹿兒島県知事に陸自装備車両による被災地周辺の被害状況調査を陸自第12普通科連隊長に要請することを要請、陸自第12普通科連隊長は、県知事の要請を受諾し、災害派遣部隊を編成し現地災害対策本部に到着、活動調整本部での調整を終え、被害状況調査に当たることとした。
17	10:50 ～ 11:15	陸上自衛隊による残留者捜索・救助訓練	現地災害対策本部は、垂水市漁協事務所内に逃げ遅れた残留者がいる模様との住民情報に基づき、陸自災害派遣部隊指揮官に当該区域の残留者の捜索・救助を要請した。
18	10:55 ～ 11:05	非常用発電機の作動試験	噴石等の落下にともない、送電線が切断され各地で停電が発生している。
19	11:05 ～ 11:10	ドローンによる被害状況調査	垂水市災害対策本部は、速やかな被害状況の把握と住民への情報提供を行うため、株式会社ナディックに対し、被害状況調査を要請した。

行動概要	実施機関及び協力機関	使用資機材等
垂水市アマチュア無線自主防災会は、適宜、会長所定で情報収集及び情報提供に係る送受信を行う。	垂水市アマチュア無線自主防災会	アマチュア無線自主防車両
避難訓練に参加し旧協和中学校グラウンドに移動した自主防災組織、関係地区振興会及び県隊友会垂水支部が、簡易担架を作成し、これにより負傷者を搬送する訓練を行う。 消防本部は、指導員を派出して指導に当たるものとし、訓練の細部は指導員所定とする。	垂水市自主防災組織連合会 関係地区振興会 県隊友会垂水支部 垂水市消防本部	
避難訓練に参加し旧協和中学校グラウンドに移動した自主防災組織、関係地区振興会及び県隊友会垂水支部が、負傷者発見時の応急処置要領について訓練を行う。 消防本部は、指導員を派出して指導に当たるものとし、訓練の細部は指導員所定とする。	垂水市自主防災組織連合会 関係地区振興会 県隊友会垂水支部 垂水市消防本部	毛布 5 枚程度 その他簡易担架作成に必要な資機材 ブルーシート大 1 枚
避難訓練に参加し旧協和中学校グラウンドに移動した自主防災組織、関係地区振興会及び県隊友会垂水支部が、訓練用消火器による訓練を行う。 消防本部は指導員を派出して指導に当たる。	垂水市自主防災組織連合会 関係地区振興会 県隊友会垂水支部 垂水市消防本部	火元表示板 1 個 訓練用消火器 3 本
1 江ノ島幼稚園、松ヶ崎小学校、協和小学校及び和光保育園の各教職員等は、校舎内外での誘導に当たる。 2 消防本部、消防団は、校外での教職員を含めた誘導及び安全確認に当たる。 3 児童及び教職員は教室から学校裏、鉄道跡地等の最寄りの想定緊急避難場所に避難する。	垂水市消防本部 垂水市消防団 協和小学校 江ノ島幼稚園 松ヶ崎小学校 和光保育園	
陸自災害派遣部隊指揮官所定で指定地域の被害状況調査を行い、その結果を陸自連絡官経由で現地災害対策本部長に通報する。	陸自第12普通科連隊	偵察用オートバイ 2 台
1 陸自災害派遣部隊は、情報に基づき、垂水市漁業協同組合に進出して残留者の捜索・救助を実施する。 救助後は、旧協和中学校グラウンド（想定避難所）まで装備車両により搬送する。 2 鹿屋警察署は、署長所定により適宜の位置に警察官を配置して交通整理を行う。 3 垂水市漁業協同組合は、職員 2 名を派出して残留者を模擬する。	陸自第12普通科連隊 鹿屋警察署 垂水市漁業協同組合	軽装甲機動車 1 台 高機動車 1 台 パジェロ（緊急車両） 1 台 偵察用オートバイ 2 台
垂水市担当課は、垂水ガス協業組合から寄贈された非常用ガス発電機の作動試験を実施する。	垂水市役所総務課 垂水ガス協業組合	非常用発電機 延長コード
株式会社ナディックは、訓練主会場（旧協和中学校グラウンド）上空を飛行しつつ被害状況の調査を行う。	株式会社ナディック	

	時間	訓練種目等	想定又は状況
20	適宜	災害時各種情報放送訓練	F Mたるみずは、災害時の放送に関する協定に基づき、災害の規模に関する情報、指定緊急避難場所及び指定避難所に関する情報等を地域住民に放送により伝達することとした。
21	11:15 ～ 11:20	現地訓練終了式	

行動概要	実施機関及び協力機関	使用資機材等
<p>FMたるみずは、訓練情報を適宜、放送して、市民の防災意識啓発に関して垂水市を支援する。</p>	<p>FMたるみず</p>	
<p>現地訓練終了後、参加機関、協力機関、支援団体及び地域住民ごとに整列して訓練終了式を行う。</p>	<p>訓練参加各機関・団体等</p>	<p>放送用器材 ・マイク1本 ・スピーカーアンプ1台 ・トランジスタメガホン1台</p>